



SURUGADAI
UNIVERSITY

駿河台大学 NEWS

発行

駿河台大学経営企画室

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 TEL.(042)972-1135
E-mail:sogokikaku@surugadai.ac.jp

2021年3月18日 No.226

ご卒業を心よりお祝い申し上げます

3月18日(木)本学体育館において、第31回学位記授与式が執り行われます。

新型コロナウイルス感染予防のため、卒業生、保護者の皆様及び来賓の皆様の安全性の確保の観点から、感染予防に配慮をした上で、午前・午後の二部制による実施とし、学位記授与式終了後に、ゼミ毎の指定教室に分かれ学位記の交付をいたします。

卒業生の皆さん、学生生活に別れを告げ、新たな道への門出を祝福いたします。

皆さんは希望の光

経済経営学部長 佐川 和彦

ご卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症のため、皆さんの大学生活の最後は忍耐を強いられた1年でした。就職活動や卒業論文執筆では、制約も多く、大変なご苦労をされたことと思います。今、人類にとっては、ワクチンが希望の光となっています。日本経済にとっては、皆さん一人ひとりの若い力が希望の光なのです。自分たちが経済を立ち直らせるための原動力であるという意識を強く持って、社会でご活躍されることを期待しています。



しなやかな感性を育み、 自立した人間として 逞しく生きる力を養う

現代文化学部長 吉野 貴順

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

標題のことばは、現代文化学部において我々教員が目指した教育目標です。こんな未曾有のコロナ禍だからこそ、皆さんが獲得した「しなやかな感性」と「人間としてたくましく生きる力」は、社会において、威力を発揮することでしょう。

そして、「周りの人よりちょっとだけ多く努力すること」。きっとそれが、皆さんの人生を充実させるためのコツなのではないでしょうか？

皆さんの前途に、幸多からん!!



時間を味方に有効利用を

大学院 総合政策研究科長 野田 裕康

ご卒業おめでとうございます。

皆さんが大学で過ごした日々は、その後の人生において実質的にどんどん短くなっていくでしょう。しかし学生時代は、時間が色あせることなく、いつでも鮮やかに蘇るものです。これから始まる新しい生活でも多くの目的を持ち、様々なゴールを駆け抜けていってください。楽しかったことを長く、辛かったことは短く考え、人生という時間軸を有意義に利用していきましょう。



よき出逢いを

法学部長 長谷川 裕寿

ご卒業おめでとうございます。

明日からは、慣れ親しんだ大学を離れ、新たな世界に飛び込んでいくことになります。これから進む新たな世界でも、気の合わない人々との付き合いは不可避免です。

そんなときは、相手を「紙やすり」と思えばよいのだとか。多少のすり傷を受けても、そのうち自分はピカピカ、相手はお払い箱になるのだから。

紙やすりで磨かれた皆さんは、さらに色彩豊かに輝いていることでしょう。そうした皆さんに再び会いたい。ご活躍を心より祈念します。



自信を持って 社会へ羽ばたいてください

メディア情報学部長 野村 正弘

ご卒業おめでとうございます。

2020年は東京オリンピックが延期になるなど、新型コロナウイルス感染症に翻弄された1年でした。これにより仕事も生活スタイルも大きく変化しました。このような今までになく大きな変化をした社会へ皆さんは出て行くことになります。4年間の学修で卒業を成し遂げた皆さんなら、これに十分対応できると確信しています。自信を持って社会へ羽ばたいてください。皆さんのご活躍を心より期待しています。



深呼吸をしてから歩き出そう

心理学部長 岩熊 史朗

ご卒業おめでとうございます。

皆さんは、折り悪く、危機的な時期に社会に出ることになってしまいました。しかし、このような危機はいずれ克服されるはず。それを信じて、この危機を克服するためにそれぞれができることを、着実に実行してほしいと思います。

その一方で、近い将来にばかり目を向けるのではなく、長いスパンで将来を考えてください。皆さんの人生はまだ出発点に過ぎません。多くの可能性が待っています。少しぐらい遠回りをしてしまっても構わないので、焦らずに進んでください。まず深呼吸をしてから歩き始めましょう。



経験を糧に!

大学院 心理学研究科長 川邊 譲

学士、修士の学位を授与された皆さん、おめでとうございます。

皆さんは、学生生活でたくさんのことを経験したと思います。コロナ禍も迷惑ではありましたが一つの大きな経験です。どんな経験からでも何かを学び取ってやろうという気概をもって、今後の人生を主体的に設計していくといいと思います。

今後の生活において、辛いことや苦しいことがないはずはありません。困ったら誰かに相談してください。相談することも人生には必要です。

ご発展とご多幸を心からお祈りします。





法学部教授
井上 久士

駿河台大学のさらなる発展を

駿河台大学に着任した1990年代中葉は、建学からそれほど間もない時期であった。その後、四半世紀を本学で過ごすことができたのは、この間出会った関係者・教職員諸氏、学生諸君のおかげであり深く感謝したい。本学が誕生した80年代後半は、日本のいわゆるバブル時期で社会の勢いがあったが、その後長く経済の不振や少子高齢化が進行するなか、本学は苦勞しながらも堅実に歩みを続けてきたように思う。

2020年になり新型コロナウイルス感染症が世界的に広まり、これまで経験したことのないオンライン授業の普遍化が始まり、私も大いにとまどった。しかし本学はいち早くこれに対応してきたし、今後いっそう磨きをかけていくことと信じている。考えてみれば、今回のコロナ禍は研究教育、社会のあり方の大きな曲がり角であるように見える。今後社会の急速な変容と流動化がすすむように思われる。

わが駿河台大学が、この変動のなか全員の奮闘でさらに発展することを祈念している。老兵は去るべきだが、老いてますます意気盛んでありたいと思う。



法学部教授
熊田 俊郎

コロナ禍のさなかに卒業する皆さんへ

「新しい大学を作るのだが」と、本学設立にかかわった先生から声をかけられたのが36年前、本学に勤めて34年が経ちました。最初に卒業生を送り出したのは、湾岸戦争とバブル崩壊の年でした。今年、私にとって最後の卒業生をコロナ禍の中で見送ります。この間、リーマンショックの年も東日本大震災の年もありました。

大学ができて間もないころ、天安門事件直後の北京の大学に派遣され赴任した時のことを思い出します。政府間の合意に基づく派遣だったので歓迎宴には中国政府から偉い人も出席し、勇ましいスピーチが続きました。そしたら中国側の長老し先生が首を振り振り、「自分の学生が死ぬということをあの人たちには理解できないでしょう」と、やっと聞こえるくらいの日本語でつぶやきながらわれわれの周りを歩き回っていました。

私たち教員は学生を送り出した後、大きな出来事の前におろおろすることしかできません。でも心配するまでもなく、私が知っている卒業生たちはしなやかにしかしたたかに人生を送っています。どうか皆さんも「コロナ後」を見据えて社会に乗り出してください。



法学部教授
千草 孝雄

これからの社会を生きていく皆さんへ

2020年に起ったコロナ禍は、国内的にも、国際社会にも大きな課題をつきつけることになった。様々な問題に直面することになったが、それらの中には、これまであまり考えられてこなかった問題もあるが、既に考えられてきた問題もかなりある。オンラインによる会議やリモートによる作業などデジタル化とよばれるものはそうしたものである。こうしたコロナ禍に先行して、AIの問題が既にでてきていた。AIについては、それほど議論が深められることなく終わったが、AIの発展、改良はこうしている間にも続いており、デジタル化の流れと深く連動している。こうした流れは、いずれ経済システムや社会システムの変化につながることは間違いないところであり、それに対する対応が必要になることは必至である。そして、こうした変化は、コンピューターという複雑なシステムを媒介としているために、どのような展開になるかということは、容易に見通すことは、難しい。これからの社会を生きていく人々には、これからの見通す知識を身に付け、そうした変化を自分たちに有利な変化にしていける思考力も身に付けてほしいと思う。



経済経営学部教授
高垣 行男

定年にあたって

私は2000年に駿河台大学経済学部に着任しました。学部名称は経済経営学部になりましたが、経営学関係の講義担当で20年勤続したことになります。着任前は、民間企業での20年を国際ビジネス（技術と経営企画）担当、前任校では在外研究など異文化の中での5年でした。着任後は大学周辺の地域企業を研究テーマにして、月に2回は地域企業団体の集会に参加を心がけ、学生の皆さんと企業訪問も行いました。その後、学生の皆さんが地域企業と接する場は大学の組織的な活動に移行しました。

大学院には地域企業の後継者が入学して修了後は学生の皆さんの就職等々で協力してくれています。学生の何人かは地域企業に就職して活躍しています。私の地域企業研究も著書等にまとめることができました。駿河台大学は学生の皆さんの教育の場であるだけでなく、私を育ててくれた場でもあります。卒業生の皆さんは、時には大学のことを思い出して大学に協力してください。

末筆になりましたが、教員ならびに職員の皆様には、大変お世話になりました。深く感謝いたします。



メディア情報学部教授
塚本 美恵子

退職にあたって

駿河台大学の教壇に初めて立ったのは1989年、法学部兼任講師(英語担当)としてでした。「英語は苦手」と話す学生の声を聞いて始めたのが『映画の吹替え授業』。映像スタジオで学生が気に入った映画の1シーンを背景に英語の台詞を吹き替える授業で、学生に好評だったため学会で発表すると複数のメディアから取材を受けました。1994年には日本初の学部「文化情報学部」の専任教員として着任すると、さまざまな専門分野の先生方と出会い私自身も多くを学ばせていただいたことから、2001年には地元FMラジオで先生方のご紹介を開始。2003年からは飯能日高テレビで、ゼミの学生と共に地域の素敵な人を紹介する番組『見つけた』をスタートし、13年間で179作品を放送しました。

2017年には埼玉県警から映像教材制作を打診され、協力したゼミ生共々感謝状をいただき、翌年には「プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー」を受賞しました。振り返れば、いつも背中を押してくれたのは学生たち、大学の教職員の方々、そして地域の皆様でした。皆様、お世話になりました。心より感謝申し上げます。

ー 駿河台大学へのご支援(ご寄付)について ー

本学は、「駿河台大学憲章」に掲げるとおり、学生一人ひとりの多様な個性と夢を尊重した教育を絶対的基盤としており、常に学生の主体的な学びを支援できる教育機関であるよう、より充実した授業環境の整備、留学、課外活動への支援等に取り組んでおります。本学の一層の充実と発展のために、寄付金募集の趣旨にご賛同賜たく、よろしくお願い申し上げます。

■インターネットによるお申込み

駿河台大学ホームページ

<https://www.surugadai.ac.jp/about/kifu/>

検索サイトを利用する場合は「駿河台大学 寄付」で検索してください。

駿河台大学 寄付

検索



◎「スポーツ振興支援募金」を選択すると、特に支援したい運動部を指定して寄付することが可能です！
いただいた寄付金はご指定の運動部で活用させていただきます。

■振込用紙によるお申込み

電話

042-972-1191

(財務課 9:00~17:00 ※日曜祝日を除く)

メール

zaimu@surugadai.ac.jp

ご氏名とご住所をお知らせください。専用の振込用紙をお送りいたします。

○本学へのご寄付は、所得税制上の優遇措置を受けることができます。

○確定申告を行うことで寄付金控除により減税となります。

※詳細は、左記ホームページをご覧ください。

**2020年度
募金状況のご報告**
(2020.2月~2021.1月)

ご寄付者		寄付金額
個人	のべ56人	1,456,000円
法人	2社	350,000円

次号にてご芳名を掲載させていただきます。
ご協力に心より御礼申し上げます。



Book de 募金 募金状況のご報告



本学では、経済的事情で学業の継続が困難な学生を支援するため、2012年度より「駿河台大学学費支援基金」を設立しました。

Book de 募金は「駿河台大学学費支援基金」の原資とする為、皆様から読み終えた書籍、文庫、コミック、DVD等をご提供頂き、協賛運営会社である嵯峨野株式会社に売却の上、その売却益をご寄付頂くプロジェクトとして、2013年8月より開始しています。

皆様からの数多くのご支援により、2021年1月末時点でのご寄付は次のとおりとなっております。引き続き、皆様からのご支援を宜しくお願いいたします。

Book de 募金 募金状況(2021年1月末現在)

ご寄付頂いた冊数	売却益(寄付金額)
32,892冊	617,891円

Book de 募金については学内に回収ボックスを設置すると共に、ホームページ、フリーダイヤルからも随時受付をしております。

遠方の方でも、5点以上から、全国どこでも無料で宅配業者が回収に伺います。ご自宅に不用になった、本・DVDがありましたら、ぜひともご協力をいただきたく、お願い申し上げます。



学内の回収箱

古本回収ボックス設置場所: 第二講義棟1Fロビー及び学生ラウンジ
本部管理棟1F 財務課前

学外からのご寄付のお申込み(5点以上から送料無料でご自宅からご寄付いただけます)

ホームページより申し込み <http://kishapon.com/surugadai/> (運営協賛会社の嵯峨野株式会社のホームページとなります)
お電話での申込 0120-29-7000 (受付時間 平日9:00~18:00) 携帯・PHS利用可 おかけ間違いにご注意ください。

◆皆様のご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】 駿河台大学 財務課 ☎042-972-1191 ✉zaimu@surugadai.ac.jp

公務員試験合格報告会を開催しました

2020年12月16日(水)、国税専門官、市役所職員、警察官、消防官などの公務員試験に合格した4年生による「公務員試験合格報告会」が開催されました。例年は1～3年生が会場を埋め尽くす程の盛況な報告会ですが、今回はZoomを利用したオンライン開催となり、約200名が参加しました。合格者からの筆記試験対策、面接試験対策、おすめの勉強法やテキストなどの報告の後、チャットで続々と寄せられる質疑にも丁寧に答えていただき、進行役を務めた竹内健互法学部准教授からは、「公務員試験合格者は、実体験に基づく強い志望動機を持っていた。1・2年生のうちから、ボランティアやインターンシップなど、様々な経験をしておくことが重要」とのメッセージが送られました。

本報告会及び同日開催の公務員試験説明会(人事院関東事務局、法務省矯正局、国税庁・国税専門官、埼玉西部消防組合、特別区人事委員会、飯能市役所、警視庁、防衛省・自衛隊)の様子を収めた動画を、駿大生限定で公開しています。ポータルサイトから視聴することができますので、ぜひご覧ください。



法学部 佐藤聖也
(長野県飯山高校出身)
長野県 飯山市役所

気持ちに波を作らないことが大切だと思います。勉強することを習慣化できるとかなり強みになるので、そう心がけるだけでも日頃の行動や意識が変わってくると思います。モチベーションだけに頼らずに、長い期間の中で楽しみも見つけながら取り組んでほしいと思います。



法学部 中山翔
(高崎健康福祉大学高崎高校出身)
群馬県警 警察官
警視庁 警察官
自衛隊幹部候補生

勉強を始めた時期が一番辛くて、自分のやっていることが合っているのかも分からず、不安の中で取り組んでいたのですが、自分を信じたり、一緒に勉強している仲間や頼れる先生方にも相談したりしました。恥ずかしがらずに周りからの助けを借りることが重要だと思います。



法学部 清水総一郎
(埼玉県立熊谷西高校出身)
埼玉県 深谷市役所
埼玉県警 警察官

合格できたのは、自分の取り組みを信じてコツコツと努力できたからだと思います。「継続は力なり」です。地道な継続が合格への一番の近道なので、皆さんも最後まで諦めずに頑張ってください!



法学部 水越有理
(埼玉県立大宮光陵高校出身)
国税専門官

やるしかない、ひたすら積み上げていくしかないと思います。なぜ自分が公務員試験を受けるのか、本当に公務員になりたいと思っているのかを考えて、その上でやるならやるで、しっかり身を入れて頑張っていってほしいです。



法学部 山口大貴
(埼玉県立滑川総合高校出身)
埼玉県 坂戸・鶴ヶ島消防組合 消防官
東京消防庁 消防官
埼玉県警 警察官

わからない問題は、友人や先生に聞いて、一週間後にまたやってみて、またダメだったら対策をして解いてみることを続けると、解けるようになります。諦めずに継続的に取り組み、苦手分野を克服することができるので頑張ってください。

卒業後のキャリアセンターの利用について

◆既卒生向け求人票コーナー・掲示板

既卒生対象の求人票をキャリアセンター内資料室の求人票コーナーにて公開しています。また、既卒生向けの各種イベント情報なども掲示しています。

◆個別相談

キャリアセンター職員による個別相談も受け付けています。就職相談をはじめ、書類の添削や模擬面接など、就職活動をしている卒業生への支援を行っています。来室予約は不要ですが、スムーズな対応を行うためにも事前にご連絡いただくことをお勧めします。また、オンラインによる面談も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

◆利用案内

開室時間は、9時～17時です。
日曜日・授業日以外の祝日・大学の休日などは利用できません。
※ご不明の際はお気軽にお問い合わせください。

◆就職支援システムの利用

卒業後1年間は「就職支援システム(Job Hunter+s)」の利用が可能です。求人票をはじめ、採用実績、企業の採用担当者からの固有情報など、本学独自の情報を知ることができます。学外からインターネットによるアクセスも可能です。ログイン時のID・パスワードは在学中に使用していたものを入力してください。

◆キャリアカレッジ

社会に出ると資格取得や知識・能力の向上が求められます。本学で開講するキャリアカレッジは、卒業後も受講できます。詳細はキャリアカレッジパンフレットをご覧ください。

【お問い合わせ先】

駿河台大学 キャリアセンター

TEL: 042-972-1131

mail: syusyoku@surugadai.ac.jp

URL: <https://www.surugadai.ac.jp/career/graduate/>



卒業後のメディアセンターの利用について

通常は卒業生もメディアセンターの利用が可能です。現在(2021年1月時点)新型コロナウイルス感染症感染防止策のため卒業生の利用を停止しています。利用が可能となりましたらメディアセンターホームページ等でお知らせしますので、以下の手続きを行ってぜひご利用ください。

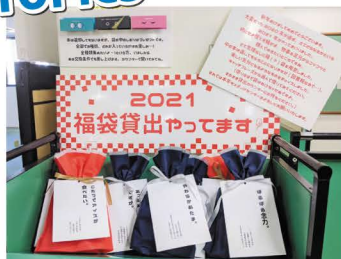
- ①メディアセンター1階総合受付にて、本人が確認できる書類(運転免許証等)を提示の上、所定の申請書を提出してください。
- ②仮利用証を即日お渡しします。
- ③申請1週間後以降に、仮利用証を卒業生用の正式な利用証と交換します。

利用できる期間は、申請日から当該年度の3月末日までです。翌年度も利用を希望する場合は、利用証の更新手続きをしてください。
利用範囲は、図書エリア内の資料の閲覧・複写、検索パソコン及び閲覧席利用(個室・学習室を除く)です。

【お問い合わせ先】 駿河台大学 学術情報課 TEL:042-972-1171



TOPICS



福袋貸出を行いました

2021年の年明けとともに、福袋貸出を行いました。
福袋貸出とは、本を袋に入れどんな本が入っているか見えないようにして、袋に貼ったキャッチフレーズをたよりに利用者に袋を選んで借りてもらう、というものです。
図書館であるため、世の中の福袋のように中身そのままプレゼント...というわけにはいきませんが、それでは少し寂しいのでオリジナルしおりをプレゼントとして袋に入れました。
まだ世の中はしばらく苦しい状況が続きそうですが、メディアセンターではこのような楽しい企画を計画しますので、少しでも楽しんでいただければと思います。

グローバル教育センターより

from the Global Education Center

カンタベリー・クライスト・チャーチ大学(英国)の オンライン授業に参加しました!



本校との提携校Canterbury Christ Church University(英国)では、オンラインによる様々な試みが行われています。その一つである無料のオンライン授業に、昨春渡英する予定だった本学の学生2名が参加しています。

この授業は、CELTA(Certificate in English Language Teaching to Adults)とTESOL (Teaching English to Speakers of Other Languages)の課程で学ぶ学生、大学院生によって教育実習のようなかたちで行われています。英国と日本の時差は8時間です。この時差に負けず、海外の学生と一緒にオンライン授業に参加した2名が体験談を寄せてくれました。



オンライン授業を通して考えた日本との環境の差

大学院 総合政策研究科2年 及川 瑞穂

少人数で進められたオンラインクラスの学生の国籍はとても豊かで、主にヨーロッパを中心に学生が集まっていた。

扱われたテーマは「環境問題」や「インターネット犯罪」などと幅広く、メインテーマと平行し、文法や単語も学習しました。

特に記憶に残った授業テーマは、「アメリカの銃規制の問題」についてです。私のグループは、シリアからの学生が参加しており、シリアにおける内戦の状況や宗教観の違いから生まれる紛争など、ディスカッションを通して、日本との環境の差を深く考えさせられました。同時に、生活や文化の違いにより、様々な意見が存在することを改めて気付かされたことも事実です。現時点では、コロナウィルスの収束がいつになるのか、不透明な状態が続いていますが、今後も留学に向け準備を継続していきたいと思っています。

リアクションは重要

経済経営学部3年 中島 勘太

授業内容は1回の授業につき1トピックで、学生4~5人がスライドを用意してそのトピックに関連付けた内容で文法、スピーキング、ディスカッション、リーディングなどのパートに分けて授業を行っています。参加している学生数は多くても7人程度で1回の授業の中で名前を呼ばれる回数が多いため、油断しがちなオンライン授業に対して、集中力を保てるのは大きなメリットでしょう。

また発言回数が多いおかげで質問を理解できなかったときにも、「分からなかった」という意思表示を毎回しなくてはならないため、質問内容が解らなかった時の「I'm sorry, I couldn't understand the question. Could you say that again, please?」と、回線が悪く聞き取れなかった時の「I'm afraid, but I couldn't hear you clearly.」はネイティブ並みにすらすらと言えるようになりました。



祝 卒業

スポーツ公認団体で活躍した卒業生に4年間を振り返ってもらいました

女子ホッケー部 現代文化学部4年

西 瑞希 (埼玉県立飯能高校出身)

一分一秒を大切に

一部活をやっていて良かったと思うこと

沢山のひとと出逢えたことです。入部してから引退するまでに、久我晃広先生をはじめ、沢山の方にお世話になりました。その方々の支えがあって、部活を続けることができました。なかでも同期は一番長い時間一緒にいました。辛い時も嬉しい時も常に隣にいたのは同期です。同期と過ごした時間はかけがえのない宝物です。これから、社会人になりますが、どんな困難があっても4年間で出逢えた人達を思い出し乗り越えていきたいと思います。

一部活をやっていて辛かったこと、大変だったこと

とにかく怪我が多かったことです。怪我によって試合に出られないことや、一人で別メニューをする時間が多くありました。なによりも大好きなホッケーができないう時間が一番辛かったです。ですが、コートの外から客観的に見ることで、新しい発見や学べることが沢山あり、プレーができなくても成長できたことは良かったと思います。

卒業後の目標や、どんな社会人になりたいか

卒業後の目標は、「チャレンジ」です。社会人1年目は初めてのことがばっかりです。失敗しても弱気にならずに、どんどんチャレンジしていきたいと思います。

一後輩(在校生)へのメッセージ

今日では新型コロナウイルスによって、部活や授業、日常生活に大きな影響が出ており、今までは違う生活様式で戸惑うことも多いと思います。

特に部活動の面では試合が中止になったり、思ったように活動できない状況です。

それでも、これまで時間が割けなかった苦手とするプレーの修正や身体づくりなど、今自分のできることを全力で取り組むことで、大きく成長できます。また、部活動に限らず、一人ひとり色々な目標や夢があると思います。それに向かって一分一秒を大切に使い、最高の大学生活を送ってください。



ラグビー部 現代文化学部4年

高橋 涼介 (東京都立小平西高校出身)

部活動でしか味わえない喜び

一大学時代4年間で一番に印象に残った場面・試合

1年生の時の2部昇格をかけた入替戦です。駿河台大学ラグビー部として2部昇格戦は初めてのことでした。自分も1年生ながら試合に出させてもらったのでとても印象に残っています。



一部活をやっていて良かったと思うこと

部活でしか味わえない喜びや楽しさがあることです。そして部活動という環境の中で様々なことを経験し学び、その中で自分が少しでも成長できたことが部活をして良かったところです。

一部活をやっていて辛かったこと、大変だったこと

大学ラグビーは、高校時代と比べて体格も技術のレベルも格段に上だったので、ついていくのが大変でした。また、4年生の時、主将としてチームをまとめることにも苦心しました。

一部活以外に大学での思い出

教育実習です。人生でたった一回しかできないことを経験することができ、実際の現場に触れることができ、とても思い出に残っています。

卒業後の目標や、どんな社会人になりたいか

まずは新社会人として、仕事や環境に慣れることが目標です。早く会社の一員として役に立てるような社会人になりたいです。

一後輩(在校生)へのメッセージ

大学の4年間というのはとても貴重な時間で、色々なことに挑戦できます。部活や勉強はもちろんですが、それ以外にも様々なことができると思います。有意義な時間を過ごしてください。応援しています。

箱根駅伝 関東学生連合チーム9区出場 町田康誠選手インタビュー

2021年1月2日(土)、3日(日)に開催された第97回東京箱根間往復大学駅伝競走にて、町田康誠選手(現代文化学部2年・白鷗大学足利高校出身)が学生連合チームの9区を走り抜きました。18位で受けた襷を一人抜いて、17位でアンカーに繋ぎました。レースを終えた町田選手に話を聞きました。

一当日エントリーで9区を走ることにしましたね

9区を走ること自体は以前から内々には決まっていた。ただ、当日の他の選手の状況によっては変更もあり得たので、とにかく与えられた場所で全力を出そうと思っていました。結果的に予定通り9区となりました。

一レース前

緊張もありましたが、割とリラックスできていました。

一レースについて

前半はほぼ想定通りでしたが、後半にやや失速してしまいました。3kmくらいで一人抜いてからはほぼ単独走となりましたが、そこでリズムに乗ることができませんでした。事前に、9区あたりでは単独になることは分かっていたのですが、周囲にランナーがいない、前のランナーが見えない状況はやはりペースを掴みづらかったです。

一終わってみて

さらに練習が必要だと感じました。後半フォームが崩れやすくなることを直して、楽に押していけるようにになりたい。そのためには練習です。

一箱根駅伝について

実際に走ってみて、単なる競技ではなく大きなイベントであり、日本のひとつの文化であると思いました。最近ほとんど連絡をとっていなかった高校時代の友人たちから「見たよ」と連絡を貰ったりして、その影響力に驚きました。

一これから

当面はインカレに注力して、その先の出雲全日本大学選抜駅伝、そして来年の箱根駅伝を目指します。本選を経験して、自分にもチームにもまだまだ足りないものがあると痛感しました。自分やチームが頑張っている、他大学のメンバーも頑張っている。皆が様々なものを犠牲にして努力しており、そんな中で結果を出すのが重要だと思っています。



9区 戸塚中継所ー鶴見中継所
23.1km

町田選手の
タイム **1:10:40**

区間12位相当

(関東学生連合チームのため参考記録)

駅伝部 徳本一善 監督

箱根駅伝9区町田選手を応援していただきありがとうございます。

当初の予定は区間10位内を目標に立て、チームでの出場に向け本学エースとしてどこまで戦えるのか。来年につなげるために吸収できるものはすべて吸収して持ち帰ろうという話をしていました。

序盤は冷静に良いリズムで10kmを通過し、区間10位内へ射撃圏内の区間12位切りでした。レースプランは後半10kmからしっかりペースを上げて目標達成に向け期待がありましたが、ラスト5kmが思うようにペースが安定せず区間12位相当となる1時間10分40秒で走破しました。

目標にはあと一歩届きませんでしたが、強豪校との力の差を肌で感じる事ができ、より一層強くになりたいという思いが強くなったと本人から聞き、またこの一年箱根に向けレベルを上げていくことを基本とし、さらにチーム力を上げていこうと思います。

駿河台大学駅伝部を今後とも応援の程よろしく願いいたします。

大学生生活を 振り返って

2021年3月卒業予定の学生に、大学生活を振り返っていただきましたので紹介します。コロナウイルスの影響により、授業のオンライン化やリモートでの就職活動など様々な変化を乗り越えて、大きく成長した学生の皆さん。社会に出てからの活躍も、駿河台大学一同応援しています。



法学部4年

石川 栄里

茨城県立鉾田第二高校出身

私は、総務省消防庁が作成した消防団員募集の学生向けポスター・リーフレットに起用されました。2年生の春に飯能消防団に入団し、日頃の活動として主に地域の防災訓練や防火教育、救急救命・応急処置の指導などを行ってきました。私は飯能消防団で多くの役立つ技術や知識を学び、地域の人々との交流などによって性格の面でも大きく変わることができました。私にとって、今回の経験は自分のやってきたことへの更なる自信につながりました。消防団を含め、駿河台大学では様々な経験をすることができました。これらの経験を活かし、就職先でも頑張りたいと思います。



経済経営学部4年

安藤 享磨

足利工業大学附属高校(現: 足利大学附属高校)出身

4年前を振り返ると、入学と同時に親元を離れ学生寮で一人暮らしを始めました。充実した大学生活を送るためプランを立て、とれる資格は取得し、失敗、修正、立て直しを繰り返し、人として成長した1年を終えました。2年目に中国へ短期留学をして中国語と中国の歴史や文化を学びました。翌年、弓道部の副主将になり部員を束ねたり、意見調整などで統率力を身に付けることができました。就職活動が解禁する3月に新型コロナウイルスが流行し説明会や面接がWeb方式になり、慣れるのに苦労しましたが2020年7月に内定獲得しました。無事卒業することができ、4月からは社会人として頑張ります。



心理学部4年

椎谷 真衣子

鹿島学園高校出身

私が大学生活で力を入れたことは、3年間続けた大学図書館の学生スタッフです。私は、魅力的な本のポップを作成するため、「選書ツアー」の中のポップの描き方講座に参加しました。選書ツアーとは、書店へ行き、読んで欲しいと思う本を選ぶ企画です。そのなかで、ポップの魅力的な文字の入れ方、イラストの入れ方、文字数を学びました。そして、大学へ持ち帰り実践したところ、私がポップを描いた本を借りる人が増えました。

これからは、図書館の学生スタッフとして活動した中で学んだ、魅力の伝え方や企画する力を活かし、社会に貢献していきたいと思います。

卒業生の皆さんへ

～事務局からのお知らせ～

◆卒業(修了)後の証明書申込みについて

駿河台大学同窓会ホームページ内「証明書の申込方法」をご覧ください。以下のURLもしくはQRコードからもアクセスできます。



URL: <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/proof.html>

◆披露宴祝電サービス

卒業生の皆様の晴れの日に、母校の理事長・学長・学部長がメッセージ(祝電)でお祝いします。詳細は駿河台大学ホームページ内「披露宴祝電サービス」をご覧ください。以下のURLもしくはQRコードからもアクセスできます。



URL: <https://www.surugadai.ac.jp/sotsugyo/shukuden/>

その他、母校の最新情報は本学公式HPや公式SNSで公開していますのでご覧ください!

Facebook

<https://www.facebook.com/SurugadaiUniversity/>



Twitter

<https://twitter.com/surugadai1987>



Instagram

<https://www.instagram.com/surugadaiuniv/>



◆卒業生のみなさんは本学をご卒業されたと同時に、本学同窓会の一員となります。今後は同窓会員として母校発展のため、ご協力いただけると幸いです。また、今後同窓会報等を、本学に登録されているご住所に郵送いたしますので、卒業後に現住所が変更となる方は、お手数でもその都度、同窓会事務局までご連絡いただきますよう、お願いいたします。

2020年度 答辞・総代・各賞受賞者一覧

答 辞

法学部 清水 総一郎 (埼玉県立熊谷西高校出身) 経済経営学部 森田 望夢 (高知県立高知南高校出身)

総 代

優秀賞

総合政策研究科法学専攻(大学院)

ZHANG JIALING

総合政策研究科経済・経営学専攻(大学院)

LIU JIAQI

総合政策研究科メディア情報学専攻(大学院)

GUO YUXIN

心理学研究科臨床心理学専攻(大学院)

野島 朋華

心理学研究科犯罪心理学専攻(大学院)

戸田 茜

法学部

大森 裕介 (埼玉県立狭山経済高校出身)

経済経営学部

鈴木 蒼太 (東京都立杉並工業高校出身)

メディア情報学部

伊藤 実 (東京都立富士森高校出身)

現代文化学部

薄田 瑞希 (金蘭会高校出身)

心理学部

橋本 佳奈 (尚志高校出身)

法学部

青木 沢斗 (浦和学院高校出身)

経済経営学部

香谷 一瀬

メディア情報学部

川端 茉衣夏 (埼玉県立所沢西高校出身)

現代文化学部

浪岡 栞奈 (青森県立三沢高校出身)

心理学部

石川 大輔 (沖縄県立前原高校出身)

菩提樹賞

法学部

太田 早紀 (宮城県佐沼高校出身)

荻田 周音 (静岡県立裾野高校出身)

上出 恭華 (群馬県立渋川工業高校出身)

鈴木 将平 (矢板中央高校出身)

丹羽 文美香 (埼玉県立豊岡高校出身)

宮下 晴美 (埼玉県立川口北高校出身)

宮下 万里子 (山梨県立富士北稜高校出身)

経済経営学部

安藤 享磨 (足利工業大学附属高校出身)

掛川 玲 (長野県小諸商業高校出身)

佐野 友紀 (北海道旭川凌雲高校出身)

伊藤 千華 (北海道滝川西高校出身)

法学部

館山 祐希 (埼玉県立所沢高校出身)

濱名 凱 (本庄第一高校出身)

八木 綾 (埼玉県立所沢商業高校出身)

矢島 航佑 (わせがく高校出身)

NGO MY HUYEN (留学生・ベトナム)

メディア情報学部

栗林 由依 (日々輝学園高校出身)

玉川 大海 (東京農業大学第三高校出身)

塚田 日奈子 (長野県屋代南高校出身)

巨 愛華 (埼玉県立狭山緑陽高校出身)

現代文化学部

伊藤 千華 (北海道滝川西高校出身)

心理学部

宇都宮 栞 (愛媛県立野村高校出身)

佐藤 瑞帆 (岩手県立不来方高校出身)

佐藤 杜登 (秋田市立秋田商業高校出身)

嶋野 優奈 (柏日体高校出身)

渡辺 悠斗 (東海大学付属第三高校出身)

和西 玲旺 (船橋市立船橋高校出身)

心理学部

佐々木 南美 (埼玉県立松山女子高校出身)

永島 帆香 (淑徳与野高校出身)

堀井 優希 (埼玉県立常盤高校出身)

松本 捷 (埼玉県立松山高校出身)

三田 麗奈 (駿台甲府高校出身)

特別賞

※課外活動において、本学の名声を高め、かつ学生の模範となる努力・チャレンジをし、顕著な実績をおさめた学生へ贈られる賞。

◆スポーツにおける活躍

法学部

吉里 駿 (駒伝/大牟田高校出身)

経済経営学部

鈴木 蒼太 (ラート/東京都立杉並工業高校出身)

樋口 正修 (野球/埼玉県立北本高校出身)

現代文化学部

宇都宮 栞 (カヌー/愛媛県立野村高校出身)

大西 洋大 (野球/聖光学院高校出身)

小濱 樹 (陸上/東京学館高校出身)

佐藤 瑞帆 (ホッケー/岩手県立不来方高校出身)

下里 尚輝 (陸上/埼玉県立坂戸西高校出身)

田代 彩夏 (陸上/白梅学園高校出身)

名倉 大悟 (陸上/浜松開誠館高校出身)

浪岡 栞奈 (ホッケー/青森県立三沢高校出身)

西 瑞希 (ホッケー/埼玉県立飯能高校出身)

羽尾 拓海 (陸上/長野県須坂東高校出身)

平井 健仁 (陸上/東洋大学附属牛久高校出身)

町田 未来 (ホッケー/栃木県立今市高校出身)

溝上 憲伸 (野球/宮崎日本大学高校出身)

山口 舞 (ホッケー/和歌山県立紀央館高校出身)

吉田 葵 (陸上/静岡県立浜松大平台高校出身)

法学部

吉田 佳純 (陸上/岐阜県立岐阜商業高校出身)

和西 玲旺 (陸上/船橋市立船橋高校出身)

心理学部

山本 星来 (ホッケー/天理高校出身)

◆文化的活動等の各方面における活躍

法学部

石川 栄里 (消防団/茨城県立鉾田第二高校出身)

上出 恭華 (法学部女子会/群馬県立渋川工業高校出身)

清水 総一郎 (選挙サポーター等/埼玉県立熊谷西高校出身)

田中 理沙子 (法学部女子会/東京都立八王子拓真高校出身)

宮下 晴美 (法学部女子会/埼玉県立川口北高校出身)

メディア情報学部

櫻谷 雄太 (駿輝祭実行委員会/西武台高校出身)

田中 慶吾 (駿輝祭実行委員会/埼玉県立狭山清陵高校出身)

◆まちを元気に、まちで元気にプロジェクトにおける活躍

メディア情報学部

玉川 大海 (地域IT化サポート/東京農業大学第三高校出身)

戸谷 夏実 (地域教育支援/群馬県立高崎北高校出身)

渡部 駿介 (地域を紹介する映像制作/新潟県立新井高校出身)

巨 愛華 (地域教育支援/埼玉県立狭山緑陽高校出身)

現代文化学部

薄田 瑞希 (地域教育支援/金蘭会高校出身)